

中守破離



令和6年9月17日（火）第16号

学校朝会「神は細部に宿る」

令和6年9月9日

校長 柿林 浩彦

先週の始業式では、西本先生から二学期は一番長い学期だからメリハリをつけて頑張ってもらいたいことに加えて、「神は細部に宿る」という言葉を紹介していただきました。

「神は細部に宿る」という言葉を学校生活の場面で考えると、あいさつや黙想、無言清掃などを大切に成長することであり、最も期待していると話されました。私も全く同じ考えですから、もう少しお話をしたいと思います。

「神は細部に宿る」を「ものづくり」に例えて説明すると、細かなところが大切であり、細かなところへのこだわり、その人の思いや考えが宿る、見えるということだと思います。

例えば、陶器を選ぶとします。まずは形が気になります。次は細かなところをしっかりと見て良いものを選ぶと思います。

ですから、陶器を作るときには、まずは本体をつくってから、細かなところをつくりながら仕上げていきます。つまり、本体と細かなところは対立するのではなく、細かなところは本体の魅力を最大限に発揮させるために必要なのです。

これを人に例えると本体は身体そのものです。では細かなところは何かだと思いますか？それは、その人の人柄であったり、人間性であったりすると思います。

人は様々なことを考えたり経験したりすることで、人柄をつくったり人間性を高めたりします。学校生活では、あいさつや黙想、無言清掃などもしっかりと行い、西本先生の話の思い出、N中メソッドを大切にすることで自分を磨いてください。

では、自分を磨くことについて、3つの話をします。

1つ目は、「人権」についてです。夏休みの課題の「人権作文」を読ませてもらいました。どれも深く考えており感心しました。内容は、平和・偏見・多様性などについて、様々な人の立場を考えながら人権を大切にすることについてでした。平和については、仲間と協力し一つのことを成し遂げることは平和の一步であること。偏見については、誰もが自分と同じ一人の人間として接すること。多様性については、相手の気持ちや背景まで想像し互いの意見を尊重したり、その意見を基により良くするようプラスに考えたりすること。などが印象に残りました。自分の「人権」だけでなく、他人の「人権」も尊重していることが素晴らしいです。

次に2つ目は、相手の立場に立つことです。最近はSNSによる人権侵害が大きな社会問題となっています。匿名で誹謗中傷したり、軽い気持ちでの投稿によって傷つけたり傷ついたりしています。例えば、チェーンメールが来たらどうしますか？



私が中学校1年生の時、スマホは当然ありませんでしたが、今のチェーンメールのような「不幸の手紙」が私のカバンに入っていたことがありました。「不幸の手紙」には、この手紙を他のだれかに渡さないとあなたが不幸になるというような内容でした。もし、あなたのカバンに「不幸の手紙」が入っていたらどうしますか？今の時代で言えば、チェーンメールが届いたらどうしますか？では、中学校1年生の私は、どうしたと思いますか？当時の私はあまり深く考えていなかったかもしれませんが、この手紙で不幸になるわけではないし、気味が悪い手紙だし、自分がもらって嫌な思いをしたから、他の人には渡すまいという考えから、手紙を燃やしました。自分が嫌なら、他の人も嫌だろうと考えたことは間違っていないのです。相手の立場に立って行動できる人になってください。

次に3つ目は、「汚い言葉は自分に戻って毒となる。」です。1学期の終業式にも紹介しました。相手に行った行為は全て自分に戻ってきます。親切にしたら親切にされ、ほめたらほめられますが、「死ね」とか「むかつく」とか人に汚い言葉を放つと全て自分に返って毒となります。相手を怒鳴ったら、怒鳴ったエネルギー分だけ自分を傷つけます。人に当たってよいことはひとつもありません。人に親切にしたら、親切に返してくれることは経験していますよね。

良いことならいいのですが、悪口や不愉快に感じさせる言動があったらどんな気持ちになりますか？悪口を言われた側は嫌な気持ちになって、悩んだり、腹が立ったりするのではないのでしょうか。ひそひそ話をしていたら、場合によっては自分のことを何か悪く言っているのではないかと疑心暗鬼になることがあります。何も知らない人に自分のことを悪く言っているのではないかと思ったりします。そのような場面を見て、嫌な気持ちになったり、不安になったりします。

思い出して悩んだり、場合によっては直接言われて悲しくなったり、言い返したりすることもあります。これらのことは、見たり聞いたりしても良い気持ちはしません。

「汚い言葉は自分に戻って毒となる。」のですから、こんなことは絶対にしない、悪いことは悪いと止めることができる人になってください。

「神は細部に宿る」のですから、自分自身を磨くのです。「気にしない」「聞き流す」ということが必要な時もありますが、自分と他人の「人権」の両方を尊重してください。でも、どうしても人間関係がうまくいかないときには、信頼できる人に相談してください。今日、パンフレットを配付します。SOSを出すことや相談することは大切なことなのです。

これからも、安心・安全な仁方中学校を創り上げていきましょう。

不断の努力

第46回「少年の主張」広島県大会・第58回中学生話し方広島大会

広島県知事賞 大段 りあ



第4回広島県中学校新人大会 水泳競技の部

男子50m背泳ぎ 第1位 広瀬 翔一郎

男子100m背泳ぎ 第3位 広瀬 翔一郎

女子50mバタフライ 第4位 不動 陽奈子

女子100mバタフライ 第4位 不動 陽奈子

呉市中学生学年別ソフトテニス大会 1年生の部

第1位 石坪 和門・福山 智規 組

